

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域・自宅での暮らしが維持できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ24時間・365日固定された時間にこだわらず、一人ひとりの生活に合わせ臨機応変に対応し、その人らしい生活、暮らし方が継続できるよう、一日の決められた日程等を設けることなく、家事活動を中心に利用者の持っている意欲、力を引き出し生きがいの持てる暮らしを目指しています。私たちは、可能な限り在宅で暮らすこと、最期までその人らしい人生を送っていただけるよう、その人の思いと願いを大切にした支援・サービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 藍住の家	管理者	上村 佳乃子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	3人	3人	1人	2人	4人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				認知症の方など、自分のしたい事を伝える事が出来ない方は日々のコミュニケーションを密にしたり、家族にお聞きし情報収集する。
B. 事業所のしつらえ・環境			手作りのオーナメントから季節感が醸し出される心地良い部屋を作りだされている。	引き続き利用者様が居心地良く、目でも楽しめる空間をご利用者と一緒に楽しみながら作っていきます。
C. 事業所と地域のかかわり			藍カフェを開催し、地域の方と共に交流している。	引き続き藍カフェを開催し、参加者や民生委員と情報交換したり、地域の方が気軽に訪問していただける環境を作っていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域の行事に参加できているが、まだ少ないと思う。	今後も馴染みの店に買い物に行ったり、地域の行事やイベントに参加するなどして、今以上に外出する機会を作りたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議で地域に方々から意見をもらい運営に反映している。	引き続き運営推進会議の議事録や資料を配布し事業所が行っていることを周知します。
F. 事業所の防災・災害対策			消防署の指導ものと定期的な訓練をしている。	引き続き定期的な消防訓練や災害訓練を継続していきます。